

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年07月13日

計画の名称	宝塚市における浸水対策と下水道施設等の老朽化対策と耐震化の推進（防災・安全）													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	宝塚市													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心な快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		429	A	429	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2（当初）	R4末	R6末
1	下水道雨水整備率（面積）91%（R2）から93%（R6）へ向上させる。			
	下水道整備による雨水整備比率（面積） 雨水整備済面積（ha） / 認可雨水計画整備面積（ha）(2,669.28ha)	91%	92%	93%
2	供用開始区域内の污水管の老朽化・耐震化対策実施率を21%（R2）から25%（R6）へ向上させる。			
	污水管路の老朽化・耐震化対策による管路改築（更新）の向上 老朽化対策、耐震化対策が行われている污水管路の延長（km） / 整備済污水管路の全延長（km）（517.896km）	21%	23%	25%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	宝塚市	直接	宝塚市	管渠（ 雨水）	新設	雨水貯留槽（新世代）	雨水貯留施設助成金	宝塚市	■	■	■	■	■	2		策定済	
	A07-002	下水道	一般	宝塚市	直接	宝塚市	管渠（ 汚水）	改築	下水道ストックマネジメ ント計画策定（2処理）	改築計画策定等	宝塚市	■	■	■	■	■	170		策定中	
	A07-003	下水道	一般	宝塚市	直接	宝塚市	管渠（ 汚水）	改築	下水道ストックマネジメ ント支援制度（2処理）	污水管路改築	宝塚市	■	■	■	■	■	144		未策定	
	A07-004	下水道	一般	宝塚市	直接	宝塚市	ポンプ 場	改築	雨水ポンプ場改築更新・ 耐震化	改築更新・耐震化（2施設）	宝塚市					■	■	72		未策定
	A07-007	下水道	一般	宝塚市	直接	宝塚市	管渠（ 雨水）	新設	内水浸水リスクマネジメ ント推進事業	内水ハザードマップ・雨水管 理総合計画等	宝塚市					■	■	41		未策定
										小計							429			
										合計							429			

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
宝塚市上下水道局において評価を実施	令和8年度
	公表の方法
	宝塚市上下水道局ホームページにて公表
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ 雨水計画の見直し等を行い、計画区域における整備比率が向上した。 ・ 下水道ストックマネジメント計画に基づき、管きょ更生工法を用いた改築工事を実施し、健全化した管路の割合が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
持続可能な下水道サービスを確保するため、良好な水循環の形成を図るうえで重要となる施設や、大規模災害発生時に重要となる施設について防災・安全交付金事業を活用し、効率的に進めていく。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	93%	目標値と実績値に大きな差は生じていない。
	最 終 実績値	93%	
2			
	最 終 目標値	25%	目標値と実績値に大きな差は生じていない。
	最 終 実績値	25%	